

公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 部分公開
	<input type="checkbox"/> 非公開	

令和7年度第3回浜松市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 令和8年2月25日(水) 午後2時から午後3時まで
- 2 開催場所 浜松市役所本館8階802会議室
- 3 出席状況
- | | |
|------|-----------------------------|
| 出席委員 | 太田正義 (常葉大学 准教授) |
| | 藤田晴康 ((公財) 浜松市スポーツ協会 常務理事) |
| | 高橋勇二 ((一社) 浜松市医師会 理事) |
| | 伊藤裕子 ((一社) ペんぎん村水泳教室 代表) |
| | 影山ちか (浜松市中学校体育連盟 会長) |
| | 中村竜久 (浜松市小学校体育連合 会長) |
| | 恩田かおり (浜松市幼稚園長会 会長) |
| 説明課 | 佐藤智香 学校・地域連携課長 |
| | 鈴木 亨 学校・地域連携課長補佐 |
| | 堀野智浩 学校・地域連携課 部活動地域展開グループ長 |
| | 寺澤潤 学校・地域連携課 指導主事 |
| 事務局 | 杉田実良 スポーツ振興担当部長 |
| | 栗田豪 スポーツ振興課長 |
| | 松本淳一 スポーツ振興課課長補佐 |
| | 小柳卓也 スポーツ振興課戦略グループ長 |
| | 鈴木一隆 スポーツ振興課施設グループ長 |
| | 大東たかし スポーツ振興課コミッショングループ長 |
- 4 傍聴者 0人
- 5 議 事 休日の部活動の地域展開について
令和8年度予算案について
- 6 発言内容記録方法 文字 / 録画 / 録音

7 発言内容

<開会>

1 会長挨拶

2 議 事

(太田会長)

議事について、事務局から説明願う。

議事：休日の部活動の地域展開について
(堀野部活動地域展開グループ長 寺澤指導主事)

資料1、資料1別紙1 (ガイドライン等) の説明

資料1 別紙2 (令和8年度予算) の説明

資料2 はまクルリーフレット

(小柳スポーツ振興課戦略グループ長)
資料3 スポーツ少年団等への支援について説明

(太田会長)
国の休日の部活動の地域展開のガイドラインと比較すると、国の方がやや高い水準を求めているが、市として整理されたのだなと感じる。特に指導者の不適切行動へのリスク管理について、どのように対応していく予定か。日本版DBSの活用等は検討されているか？

(寺澤指導主事)
本日はお示ししていないが、ご意見を頂いた内容については、ガイドライン別冊で整理している。日本版DBSについても今後どのように対応していくか検討していく。また、人材バンクに指導者全員を登録して一元管理し、例えば、研修動画の視聴確認等にも活用していく。

(太田会長)
仮に不適切指導があった場合の相談窓口はどうする予定か？

(寺澤指導主事)
当初は事務局で対応することになるが、別途相談窓口を設けることも検討している。また、不適切指導が発生した場合は、都度調査や対応をしていく予定。

(太田会長)
利用者としては相談窓口があると安心できる。国としては、第三者性を担保するよう求めているので、教育委員会の外に作るのも一つアイデアとしてはあると思う。

(高橋委員)
整形外科医としては、オーバーユースによる障害が懸念される。資料では練習時間は週11時間程度とされているが、練習時間の総量管理はどうかされる予定か？

(寺澤指導主事)
学校の管理と、はまクルの管理を調整することは難しい問題だと考えている。平日の部活動は週3回1日2時間、はまクルは土日どちらか1日3時間程度なので、概ね問題ないが、大会等で時間が伸びることもあるので、部活動とはまクルの連携が重要となる。そういった点も含めて、学校クラブを母体としてのはまクル認定クラブの設立も認めているが、複数加入も認めていることから練習時間の管理は個人単位になる。この点について、国に確認したところ、実際には難しく、努力義務ということであった。

(中村委員)
学校や地域の実態に併せて運用を変えていかなければいけないと考えている。特に、指導者が確保できないと結局教員が土日に出勤することになってしまう。指導者確保についてはどう考えているのか？

(寺澤指導主事)
指導者確保は大きな課題の一つであると認識している。中学校教員のはまクル指導希望者は全教員の2割程度、小学校の先生は全体の3%程度が地域クラブ活動に携わっていきたいと回答している。割合としては少なく感じるかもしれないが、指導に携わりたい先生がしっかり関与できるような制度設計にしていく。また、アンケート調査によると、競技ごとに指導者数に偏りが見られる。地域指導者や少年団の指導者、保護者にも積極的に関わっていただきたいと考えている。

(太田会長)

中山間地域への支援はどう考えているのか？

(寺澤指導主事)

生徒数の減により合同チームが増え、活動場所への移動手段の確保が課題であると認識している。1つの方策として、保護者等による共助型のライドシェア等についても検討していきたい。

(伊藤委員)

インクルーシブ的な視点で言えば、障がいを持った子はどこに行けばいいのか？

(寺澤指導主事)

基本的には誰でも参加できるというのが地域クラブの趣旨。唯一の制限は対象となる地域を制限できる点である。地域クラブの良いところとして、これまでの部活にない新しい競技・種目の参画が可能である。また、様々な障がいや特性を持つ子どもの体験機会の場としても考えられる。

(伊藤委員)

様々な特性のある子どもの受け入れを断れないということであったが、受け入れ可能な指導体制が整っていなければ難しい。この問題についても、同時進行で検討してほしい。

(太田会長)

制度設計上はオープンになっているが、実際には指導者の能力や設備等の制約があることになると思う。

(伊藤委員)

可能なら人材データベース上で障がいや特性を持つ子どもへの対応可能性についても聴取してほしい。障がいのある子が乗り遅れることがないように、先回りして制度設計と予算の確保を進めてほしい。

(藤田委員)

クラブ活動費のシミュレーションについて、2分の1補助となっているが、金額面での条件設定はあるか。
また、対象経費ごとの上限はあるのか？

(堀野部活動地域展開グループ長)

金額以外に上限はない。対象経費については、これまでの実証事業では認められていなかった備品の購入も認められている。ただし、施設の修繕については認めていない。

(鈴木学校・地域連携課課長補佐)

補足させていただくと、国の要綱等に則り本市の補助金交付要綱で詳細に定めていく予定。

・令和8年度予算案について

(小柳スポーツ振興課戦略グループ長)

資料4 (スポーツ推進ビジョン分野別予算) の説明

資料5 (当初予算の主要な事業) の説明

資料6 (スポーツ振興課補助金関係) の説明

(藤田委員)

アリーナリニューアル事業と新武道館整備事業における共用開始年度は令和 14 年となっているが、どちらかの事業において早まる可能性はあるのか？

(杉田スポーツ振興担当部長)

供用開始が早まる可能性はない。

(伊藤委員)

アジア大会のメディア露出について、愛知県と連携して何か実施する予定はあるのか？特にパラについては露出が少ないとの意見がある。

(栗田スポーツ振興課長)

企業版ふるさと納税を活用した、観戦機会の創出について検討していきたい。

(杉田スポーツ振興担当部長)

アジア大会そのものの PR が不足していると感じているので、開催地としてはできる限りの対応をしていきたい。

(太田会長)

他にはなにかあるか、なければ議事を終了し、事務局にお返りする。

<閉会>